

2021 年度事業計画書

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)

I 概況

2020 年度の国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光・旅客・外食産業等では特に厳しい状況にありましたが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」をはじめ補正予算の効果も相まって、一部には持ち直しの動きも見られました。然しながら、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、回復は道半ばでした。

今後については、感染拡大の防止策を講じるなかで執行される総合経済対策等による各種効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されます。

当工業会が 4 半期毎に実施している景況観測調査に於いて、本年 3 月時点の景況感 DI は ▲46.15 ポイントと大きく落ち込んでいること。また、建設経済研究所のレポートによれば、2020 年度に前年比で 10%程度減少した非住宅着工床面積は 3%程度の回復にとどまる見込みであることから、受注環境の改善には時間を要することが予想されます。また、内外の感染拡大による影響が国内経済を下振れさせるリスクもあり、動向には十分注意する必要があります。

当工業会は、この様な経済動向および感染状況を注視しつつ、業界への影響を把握し、様々な課題の解決に向けて取り組んでいきます。

コロナ禍の中、ウェブ会議を活用すること等によって円滑な運営に努めてまいりますので、引き続き会員の皆様方のご協力を宜しくお願いします。

II 主要実施予定事業

1. 調査研究・標準化事業

1.1 調査研究事業

(仮称) 盤類の機械的構造 Q&A の作成

2020 年度の継続として、盤類の機械的構造及び盤メーカーが必要と思われる項目について、ソフト解析技術、検証方法の統一化の調査・研究を行い「盤類の機械的構造 Q&A」の作成を目指します。

1.2 規格、技術資料の改定・標準化事業

電気エネルギーを安全に使用するため、防災・減災に寄与する機器・装置を備えた配電盤類の検討を行うとともに、配電制御システムに関する規格や基準の制定・改定を計画的に行い、公開します。

(1) JIS C 8480「キャビネット形分電盤」の改正

2016 年に改正しましたが、JIS 規格の見直し時期 (5 年毎) を過ぎたこと、又、最新技術を用いた分電盤の開発がされていることなどから、(一財)日本規格協会へ改正手続きを申請し見直しを行います。

(2) JSIA 010「規格票の様式及び作成方法」の改正

現在の規格は 2015 年版ですが、引用規格の JIS Z 8301 が 2019 年に改正されている

ことから、見直しを行います。

(3) JSIA-T1014「配電盤類における短絡電流」の改正

現在の技術資料は2010年版ですが、建築設備設計基準（国交省）が2021年に改正発行されることから、並行して見直しを行います。

(4) JSIA-T2001「配電盤類の更新推奨時期判定の手引き」の改正

現在の技術資料は2010年版ですが、「配電盤類の更新推奨パンフレットの作成」に合わせ、並行して見直しを行います。

(5) 「配電盤類の更新推奨」パンフレットの作成

電気設備使用者向けに、配電盤類（高圧・低圧）の寿命についてパンフレットを作成し、新対応の啓蒙を図ります。

(6) (仮称) 配電盤類に適用するサージ防護デバイス（SPD）の取り扱い指針の作成

SPDはJIS C 5381規格群で規定されていますが、盤内設置の場合、配置や配線について規定要求を満足することが困難です。このことから、(一社)日本雷保護システム工業会（JLPA）に参加していただき、配電盤類内の設置に適したSPD取り扱い指針を取りまとめます。

(7) 防災・減災に寄与する機器・装置を備えた配電盤類の検討

異常気象等による種々の災害を目にすることが多くなっています。盤類をより安心安全に使用するため、防災・減災に寄与する機器装置を調査し、取りまとめ付加価値向上を検討します。

1.3 外部技術委員会との意見交換

各種最新動向の収集、技術情報の共有を目的に、他団体の委員会と情報交換会を開催し規格・基準への反映、啓蒙を図ります。

(1) (一社)日本電機工業会との技術情報交換会

(2) (一社)日本電気協会との情報交換会

2. システム検査事業

(1) 配電制御システム検査技能審査試験の実施

配電制御システムの検査業務に従事する技術者の知識及び技能の向上を目的として1995年（平成7年）より「配電制御システム検査技能審査試験」を実施しており、今年度も10月第3土曜日に全国9会場で実施を予定しています。

(2) 技能検定試験の実施

中央職業能力開発協会からの依頼により、「電気製図」及び「電気機器組立」の2職種について中央技能検定委員を派遣するとともに、各都道府県職業能力開発協会から委託を受けた支部は、委員の派遣や技能検定試験を実施します。

3. 講習会、セミナーなど

(1) 技術セミナー

技術動向や委員会活動の成果報告等のセミナーの再開を検討します。

(2) JSIA 優良工場指定講習会

技術者・技能者の育成、標準化活動、適合性活動について、課題の整理・選別を行い、他団体・企業と協力し、技術力の強化に向けた活動を継続・推進します。

4. 認定事業

(1) 耐熱形配電盤等認定事業

耐熱形配電盤の認定事業を実施します。

また、新しい型式の実現に向けて、(一社)日本電気協会と連携して行政への働きかけを継続します。

(2) 耐熱形配電盤等機器認定事業

耐熱形配電盤等に用いる機器の性能、構造及び材質等の品質確保を図るため、認定機器及び登録機器の認定を実施します。

(3) JSIA 優良工場認定事業

昨年度から JIS Q 9001 の品質マネジメントシステムが構築されていることを前提として、機種別規格適合審査（配電盤、分電盤、制御盤）に移行しました。

今年度も、配電盤、分電盤、制御盤それぞれの JIS 又は JSIA 規格等の適合性を検証する形式検査、及び同等品質の製品を継続して製造できることを重点確認ポイントとして審査を行います。

5. 経営の改善に関する事業

(1) e-JSIA 事業

e-JSIA システムは Internet Explorer をベースとしていますが、今後 Microsoft Edge への移行が見込まれることから、システムの見直しについて検討を行います。

(2) 事業推進活動

会員企業単独では解決が難しい事案について、工業会として業界全体での対応策の検討や関係各所への働き掛けを行っていきます。

6. その他の事業

(1) 青年部活動

第3回青年部全国大会を11月4日に名古屋で開催する予定です。各支部の青年部事業の報告、「トヨタ産業技術館」の視察会などを行い、交流を深める予定です。

(2) 証明書の発行（中小企業等経営強化法の経営力向上設備税制）

中小企業等経営強化法の「経営力向上設備税制」は、2023年3月まで延長されましたので、引き続き「受変電設備」の証明書発行団体として、円滑な処理に努めます。

(3) 出版事業及び成果物の開示

技術資料や調査研究事業の報告書は、技術力向上のため、研修や自己研鑽のテキストとして、ウェブページで公開や出版物として発行します。

(4) 自主統計の実施

業界動向を継続的に把握するため、各種統計調査を行います。引き続き多数の会員の皆様方のご協力をお願いします。

四半期毎に「景況観測調査」また、年1回「経営分析調査」「生産統計調査」「賃金実態調査」を継続的に実施し、ウェブページに掲載します。

(5) 広報活動

「ウェブページ」や「JSIA ニュース」を活用し、JSIA の取り組みや成果、国の施策、省エネなどの有益と思われる情報のタイムリーな発信に努めます。

また、JECA FAIR への出展などにより、対外的な認知度の向上に努めます。

【主な広報媒体は以下の通り】

- ・機関誌「JSIA」・・・年1回
- ・JECA FAIR 2021（第69回電設工業展）への出展
耐熱形耐熱盤等を展示し、工業会の市場認知度向上に努めます。
- ・「JSIA ニュース」の配信・・・必要の都度（月1回程度）

(6) 表彰事業

永年にわたり業界及び本会の発展に貢献された方々を称えるため、下記の表彰を行います。

- ・配電制御システム永年功績者表彰
- ・優良従業員表彰

(7) PL 保険事業

1997年から配電盤類の事故による納入先への損害補償制度を実施しています。

また、PL 保険に加え、対人・対物事故を伴わない経済的損失をカバーできる保険（E&O 保険）の取り扱いも行っています。

Ⅲ 支部実施予定事業

本部の方針に基づき実施する事業のほか、それぞれの地域の実情に即した事業活動を推進していきます。最新技術動向の把握や技術力向上に向けて、委員会や講習会などをタイムリーに実施します。

また、関係官庁、関係団体との意見交換・交流を通じ、本会の地位向上・取引の改善を図ります。

1. 共通して実施する事業

(1) 広報活動

ウェブページによる情報発信、関係官庁、関係団体などから入手した情報提供及びパンフレット等の配布などを行います。

(2) 経営改善事業

関係団体等との連携、協議などにより地域の実情に沿った事業の推進に努めます。

(3) 配電制御システム検査技能審査事業

配電制御システム検査技能審査試験を実施します。

(3) 講習会、研修会、セミナーなどの開催

各種試験の受験に向けて技術講習会、電気技術関連研修会、JSIA 優良工場指定講習会、工場見学会などの教育・訓練の推進をします。

(4) 交流事業

- ・関係機関、関係団体、会員相互の意見交換及び交流を行います。
- ・野球大会、テニス大会など支部の特徴を生かした交流事業を実施し、健康の増進に努めます。

(5) 青年部活動

若手経営者による情報交換、交流会などを必要に応じ各地の青年部と連携して行います。

2. 特定の支部で実施する事業

(1) 技能検定試験の実施

下記のとおり実施します。

なお、中部支部の電気製図作業、電気機器組立て作業、シーケンス作業等は、愛知県電機技術工学院で行っています。

- ・電気製図作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・電気機器組立作業・・・北海道支部、東京支部、中部支部、関西支部
- ・シーケンス制御作業・・・東京支部、関西支部

(2) 営業研修・・・九州支部

(3) 表彰事業

支部長による優秀技能者の表彰などを行います。(東京支部、四国支部)

(4) 事務受託・・・東京支部、中部支部